NTT docomo

ドライブネットクレイドル 02

取扱説明書

このたびは、ドライブネットクレイドル 02（以下、本クレイドルと表記します）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。
- ご使用のスマートフォン / タブレット（以下、端末と表記します）が対応機種であることを、ドコモのホームページでご確認ください。また、ご使用の前に、端末の取扱説明書をあわせてご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	シガーライター電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

⚠警告

自動車の運転中に端末などの操作をしないでください。
端末の画面を長く見る必要がある複雑な機能や映像の閲覧は、自動車の運転中に操作をしないでください。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中に、画面を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。

⚠注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。

⚠危険

禁止	高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。 火災、やけど、けがの原因となります。
禁止	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
分解禁止	分解、改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
水濡れ禁止	水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止	強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
禁止	充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
禁止	運転の妨げになる場所や同乗者の安全を損なうような場所には取り付けないでください。 視界、エアバッグなどの安全補助装置を妨げる場所やブレーキペダル付近など、運転に支障をきたす場所への取り付けは、交通事故、けが、破損の原因となります。
禁止	直射日光が長時間当たる場所には置かないでください。 キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となります。 また､本クレイドルの一部が熱くなり、やけどの原因となります。
禁止	ケーブル類のコードが傷んだら使用しないでください。 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	シガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。 火災、やけど、感電の原因となります。
濡れ手禁止	濡れた手でアダプタのコード、シガーライターソケットに触れないでください。 火災、やけど、感電の原因となります。

指示	使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。 ・シガーライター電源アダプタをシガーライターソケットから抜く。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
指示	確実に取り付けてください。 急ブレーキなどで機器が外れると、事故やけがなどの原因となります。
指示	指定の電源､電圧で使用してください。 ＤＣアダプタ：ＤＣ１２Ｖ（マイナスアース車専用）
指示	付属のシガーライター電源アダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。 火災、やけど、感電の原因となります。 指定ヒューズに関しては、この取扱説明書でご確認ください。
指示	シガーライター電源アダプタについたほこりは、拭き取ってください。 火災、やけど、感電の原因となります。
指示	シガーライター電源アダプタを抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。 火災、やけど、感電の原因となります。
電源プラグを抜く	長時間使用しない場合は、シガーライター電源アダプタをシガーライターソケットから抜いてください。 火災、やけど、感電の原因となります。
電源プラグを抜く	万が一､水などの液体が入った場合は、直ちにシガーライターソケットからシガーライター電源アダプタを抜いてください。 火災、やけど、感電の原因となります。
電源プラグを抜く	お手入れの際は、シガーライター電源アダプタをシガーライターソケットから抜いて行ってください。 火災、やけど、感電の原因となります。

⚠注意

禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。 落下して、けがの原因となります。
禁止	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	シガーライター電源アダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	ケーブル類のコードの上に重いものをのせないでください。 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	引火に注意してください。 引火性ガス（プロパンガス、ガソリンなど）の発生するような場所（ガススタンド､ガソリンスタンドなど）では、電源を切り、使用しないでください。 引火・爆発の原因となることがあります。
禁止	車載用以外では使用しないでください。 本クレイドルを車載用として以外は使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。船舶、航空機、バイク、登山で使用しないでください。位置誤差が生じたり、地図が表示されず事故の原因となります。また、塩害などにより発熱、破裂、発火の原因となります。
禁止	故障のまま使用しないでください。 LED が点灯しないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
禁止	ケーブル類は途中で切断しないでください。 ケーブル類には、ヒューズなどが付いている場合があります。絶対に途中で切断したり、短くしたりして使わないでください。保護回路が働かなくなり火災の原因となります。
禁止	分岐配線をしないでください。 一本のケーブルを分岐配線しないでください。分岐配線で電源を取るとケーブルが加熱して、火災・感電の原因となります。
指示	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示	お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。 箇所の材質について「材質一覧」（⇒ 4 ページ）

材質一覧

ドライブネットクレイドル 02 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
ドライブネットクレイドル 02 本体	PCABS	―
アーム（上部）	PCABS	―
アーム（下部）	PP+talc 20 %	―
ドライブネットクレイドル 02 本体 裏面ブラケット	SPCC	電気メッキ
ドライブネットクレイドル 02 本体 表面ラバーパット	シリコン	―
アーム（上部・下部）ラバーパット	シリコン	―
アーム（上部）調節ネジ	PCABS	―
アーム（上部）調節ネジ部バネ	ステンレス	―
アーム（上部）調節ネジ部ワッシャ	PA	―
ネジ	鉄	亜鉛メッキ

スタンド

使用箇所	使用材質	表面処理
吸盤	TPU	―
吸盤ハウジング	PC	―
ケーブルフック部分	PC	―
ロックレバー	PC	―
ロックレバー固定ピン	鉄	亜鉛メッキ
ボールジョイント	TPU	―
ボールジョイント回転シャフト	PC	―
ボールジョイント調節ネジ	PC	―
角度調節ネジ	PC	―
本体取り付け用ネジ	鉄	亜鉛メッキ
クレイドル固定ネジ	ABS	―
クレイドル固定ネジ部ワッシャ	TPU	―
吸盤保護シート	紙	―
ネジ	鉄	亜鉛メッキ
ナット	鉄	亜鉛メッキ

センサーユニット

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（上）	PC	研磨
外装ケース（下）	PC	―
Bluetooth 接続表示用 イルミネーション部レンズ	PC	―
エコ・イルミネーション部レンズ	PC	―
ソフトウェア更新用 USB 接続端子	銅合金	―
ソフトウェア更新用 USB 接続端子カバー	合成ゴム	―
センサーユニット 電源ケーブル接続端子	銅合金	―
センサーユニット 電源ケーブル接続端子ケース	PA	―
ネジ	鉄	亜鉛メッキ
銘板シール	PET	―

シガーライター電源アダプタ

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（上）	PC	研磨
外装ケース（下）	PC	―
センサーユニット 電源ケーブル接続端子カバー	TPU	―
スマートフォン / タブレット 電源ケーブル接続端子部 LED レンズ	PC	―
ロゴプレート	PC	研磨
板バネ	ステンレス	ニッケルメッキ
端子	銅合金	ニッケルメッキ
キャップ	PC	―
スマートフォン / タブレット 電源ケーブル接続端子	銅合金	ニッケルメッキ
センサーユニット 電源ケーブル接続端子	PA	―
銘板シール	PET	

取り扱い上のご注意

●本クレイドルは、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。けがや事故の原因となることがありますので、温度の上昇にご注意ください。
●運転中の端末の音量は、車外の音が聞こえる程度に設定してご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
●運転中の画面は適切な明るさでご使用ください。
●ケーブル類は、運転操作の妨げとならないようケーブルクランパー (試供品) でまとめておくなどして配置してください。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
●車体やネジ部分、シートレールなど、車両の動く部分にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。
●ケーブルが車両の金属部に接触しないよう取り付けて下さい。
接触する可能性がある場合は、必ず接触部分に保護テープを巻き、ケーブルの被覆を保護してください。保護しないと火災や感電の原因となります。
●高温低温、または振動が原因で端末が故障する場合があります。その様な場所への取り付けはしないでください。
●使用後は必ず本クレイドルを取り外してください。
●車種によっては、取り付けができない場合がありますので、ご注意ください。
●エアコンの温風や冷風が直接当たる場所には置かないでください。
変形や故障の原因となります。
●端末に添付されている取扱説明書をよくお読みください。
●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
●極端な高温、低温は避けてください。
温度は 0 ℃～ 45 ℃、湿度は 45 %～ 85 %の範囲でご使用ください。
●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
●外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
●使用中、充電中、端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
●端末への充電は端末の取扱説明書に記載の適正な周囲温度の場所で行ってください。
●シガーライター電源アダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
●強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。
●電波に関するご注意
・本クレイドルは電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本クレイドルを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本クレイドルは日本国内のみで使用できます。
・下記の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
＊分解 / 改造すること。
＊本クレイドルに貼ってある証明ラベルを剥がすこと。
・本クレイドルの無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本クレイドルの無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本クレイドルは電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
＊無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本クレイドルの無線機能を使うと、音声がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
・その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
＊火災報知器・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
＊工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
＊マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
＊自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
＊自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器や VICS
＊アマチュア無線局（道路交通網システム）など

① ② ③

2.4FH1

④

① 2.4：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が 10 m 以下であることを示します。
④ ▨▨▨▨▨▨：2400 MHz ～ 2483.5 MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

●Bluetooth 機器使用上の注意事項
・本クレイドルの使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本クレイドルを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本クレイドルと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

●改造された本クレイドルは絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本クレイドルは、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がセンサーユニットの銘板シールに表示されております。
本クレイドルのネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

●自動車などを運転中の使用にはご注意ください。運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

●Bluetooth 機能は日本国内で使用してください。本クレイドルの Bluetooth 機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

ご使用にあたっての注意事項

・ 車のダッシュボードなどは、直射日光が当たり高温になりやすい場所です。また、炎天下の車内も高温になることがあります。端末を本クレイドルなどに装着して使用する場合は、取扱説明書に記載されている温度、湿度の範囲内でご使用ください。高温の状況下での使用、保管、放置は、機器の変形、故障や電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、本クレイドルの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。
・ 日差しが強かったり、直射日光が端末に当たる状況下では、使用、保管、放置しないでください。長時間にわたり、使用、保管、放置されますと機器が高温になり、機器の変形、故障や電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、本クレイドルの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。
・ 端末を本クレイドルに取り付ける際は、急発進、急ブレーキ、カーブ、悪路などの走行時に、端末が落下しないよう確実に固定して下さい。端末が落ちるなどして、事故やけがの原因となったり、端末や周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。
・ メタルガラス（熱線反射ガラス）など、電波不通過ガラスを採用している車両では、車室内ではGPSの電波を受信できず本クレイドルを使用できない場合があります。車両メーカー・ディーラーにご確認ください。
・ 無理な力がかかると内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、持ち運びにはご注意ください。特にカバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
・ ケーブル類のコードをプラグなどに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。
・ 本クレイドルは、ダッシュボードの上に放置しないでください。故障の原因となります。
・ 端末を充電しながら長時間連続使用される場合にはご注意ください。端末の温度が高くなったり、電池パックの劣化を早めたりすることがあります。

安全走行のために

・ 走行中に運転者が端末の操作をすると画面に気を取られて、思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。運転者が端末の操作をする場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
・ 運転中の端末の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
・ 端末の音量を耳を刺激するような大きな設定で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

電源投入直後の測位について

・ 本クレイドルでは、現在位置をGPS測位（→「ナビゲーションのしくみ」）により表示します。電源投入直後は、正確な現在位置を把握するまで（GPS測位が完了するまで）５分程度時間がかかることがあります。

環境保護のために

・ 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。必要以上の停車中のアイドリングは、バッテリー上がりにもつながります。

その他

・ センサーユニットは決められた場所に付属のセンサーユニット取付用面ファスナー（試供品）を貼り付けて取り付けてください。その他、本体にシールなどを貼らないでください。故障・破損の原因となります。
・ 当社は、本クレイドルがお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。

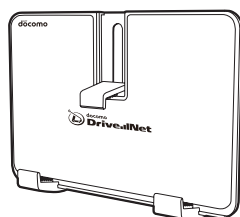
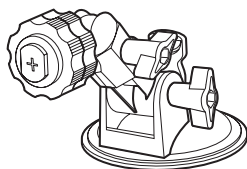
本クレイドルが対応する端末

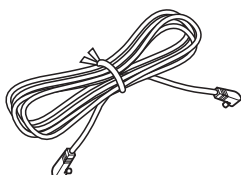
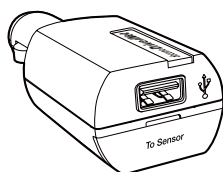
・ 最新の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
・ 操作方法は、機種やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。

⚠注意

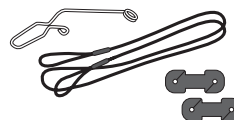
・ 端末は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
・ 端末を充電しながら長時間連続使用される場合にはご注意ください。端末の充電が停止する可能性があります。このような場合には本クレイドルから端末を取り外し、温度が十分下がったことを確認して再度充電を行ってください。また、温度の高い部分に触れるとやけどの原因となる恐れがあります。
・ 端末を十分に充電した状態でご使用ください。充電残量が少ない場合に充電しながらアプリケーションを使用すると充電が停止する可能性があります。
・ 端末の取り扱いについて詳しくは、端末の取扱説明書をお読みください。

構成品について

ドライブネットクレイドル 02 本体 × 1

スタンド × 1

センサーユニット × 1

センサーユニット電源ケーブル（3 m）× 1

シガーライター電源アダプタ × 1

スマートフォン / タブレット電源ケーブル（1.3 m）（試供品）× 1

ソフトウェア更新用 USB ケーブル（35 cm）（試供品）× 1

落下防止用ストラップ(80 cm)(一式)（試供品）

センサーユニット取付用面ファスナー（試供品）× 2

ケーブルクランパー（試供品）× 2

取扱説明書（本書）× 1

保証書 × 1

⚠ 注意

- 本クレイドルは車載専用機器です。ソフトウェア更新以外には車外では使用しないでください。
- ソフトウェア更新用 USB ケーブル（試供品）はソフトウェア更新以外に使用しないでください。

本クレイドルでできること

本クレイドルは、車載用GPS レシーバー・アンテナ・加速度センサー・ジャイロセンサーを内蔵しています。これらの機能により、端末を高精度な本格ナビゲーションとして使用できます。

⚠ 注意

・ナビゲーションとして使用するには、対応のドコモ ドライブネットアプリとドコモ ドライブネットのお申込み（月額使用料：315 円）が必要です。
・ドコモ ドライブネットアプリは、『d メニュー』-『サービス一覧（一覧を見る）』-『ドコモ ドライブネット』からダウンロードしてください。
・アプリケーションの機能、使用上のご注意については、ドコモ ドライブネットアプリのメニューから「ヘルプ（外部サイト）」をお読みください。
・アプリケーションについての推奨する使用環境、利用方法は、ドコモ ドライブネットアプリの「ヘルプ（外部サイト）」をご確認ください。

エコ・イルミネーション機能

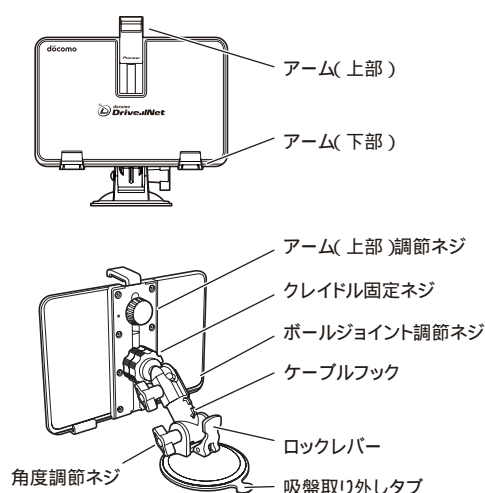
前回までのドライブの燃費と現在の燃費を比較してエコ運転を支援します。前回までのドライブの燃費より良いときは、センサーユニットの緑色の LED が点灯します。前回までのドライブの燃費より悪いときは、センサーユニットの赤色の LED が点灯します。

⚠ 注意

・本クレイドルが表示する燃費効率に関する情報は、目安としてご利用ください。
・過去の記録がない場合（工場出荷時／前回までのドライブの燃費が正常に記録されていない時／端末でエコステータスを初期化した時）、正常に動作しないことがあります。
・エコステータスの初期化には、対応のドコモ ドライブネットアプリが必要です。

各部の名称と機能

各部の名称

ドライブネットクレイドル 02 本体、スタンド

センサーユニット

シガーライター電源アダプタ

車への取り付け

ダッシュボード付近に本クレイドルを取り付ける場合のご注意

下記の点にご注意ください。

- 前方視界を妨げない
- 直前側方視界を妨げない
- エアバッグシステムの動作を妨げない
- ナビゲーションに関しては運転中の視線移動を少なくする

前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取り付けると、道路運送車両の保安基準*に適合せず車検に通らなかったり整備不良の対象となる場合があります。

＊保安基準とは、昭和 26 年 7 月 28 日施行 運輸省令第 67 号道路運送車両の保安基準における第 21 条及び第 44 条第 5 項の告示で定める基準の事です。

前方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接確認できるように取り付けてください。

直前側方視界に関して

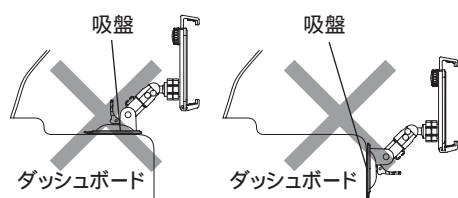
運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接またはミラーで確認できるように取り付けてください。

注）いずれの基準も左ハンドル車の場合は左右逆となります。

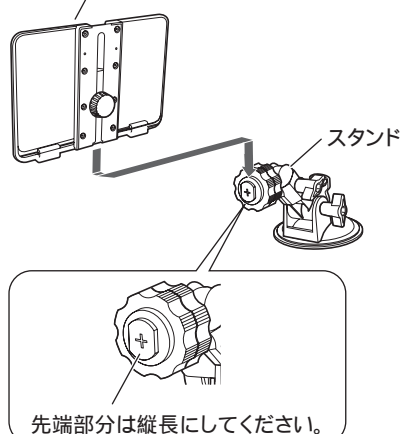
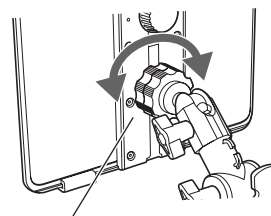
使用上のご注意
(取り付けるにあたって)

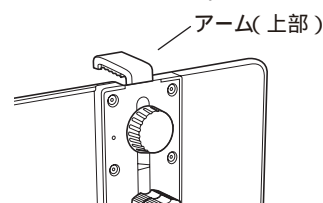
取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、無理に力をかけるなど常識を超えた使い方をされた場合は保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

⚠注意

- 本クレイドルを使用した後は、取り外して直射日光の当たる場所や高温、高湿の場所を避けて保管してください。また、本クレイドルをダッシュボードに放置しないでください。変形の原因となることがあります。
- 気温が低い（20℃以下）場合は、吸盤の吸着力が低下します。車内のヒーターで車内を暖めてから取り付けてください。
- 取り付け場所の汚れは、きれいに拭き取り、乾燥してから取り付けてください。
- 取り付ける場所は、次の場所を選んでください。正しく取り付けられないと、本クレイドルの落下や、現在地を正しく表示できないなどの原因となります。
  ※ダッシュボード上の平滑で凹凸のない場所
  ※振動の激しくない場所、不安定でない場所
  ※車内のボタンの操作をさまたげない場所
- 次の場所には取り付けないでください。
  ※フロントガラス
  ※雨水がかかりやすい場所
  ※荷物などが当たる場所
  ※エアコンの温風や冷風が直接当たる場所
- 次の取り付けはしないでください。

- 必ず本クレイドルに付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用する指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- センサーユニットを塗装しないでください。内蔵 GPS の性能が落ちる場合があります。
- メタルガラス（熱線反射ガラス）など、電波不通過ガラスを採用している車両では GPS 衛星の電波を通さないものがあります。そのような車両の場合は、ダッシュボード上の取り付け位置を変えてみてください。

組み立て方法

1 ドライブネットクレイドル 02 本体にスタンドを取り付ける

スタンドのクレイドル固定ネジを回して固定します。固定は２つのネジでおこないます。固定する場合はドライブネットクレイドル 02 本体に近い順から締めてください。緩める場合は反対の順序で緩めてください。

⚠注意

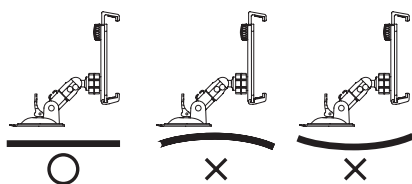
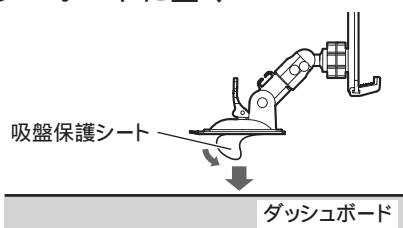
- ドライブネットクレイドル 02 本体のアーム（上部）を調節できるように、スタンドの位置を決めてください。位置が高すぎると、ドライブネットクレイドル 02　本体のアーム（上部）が下がらず、端末が固定できない場合があります。(⇒「端末の取り付け」15 ページ)

取り付け方法
（ドライブネットクレイドル 02 本体、スタンド）

ご購入時は、吸盤の吸着面（裏面）に吸盤保護シートが貼り付けてあります。手順 2 まで吸盤保護シートは剥がさないでください。吸盤の吸着面が汚れると、吸着力が低下して落下する場合があります。

⚠注意

- 本クレイドルはダッシュボード取り付け専用です。窓ガラスや透明樹脂（メーターパネル）には取り付けないでください。
- 本革、布、木目など、樹脂以外の素材には取り付け出来ないことがあります。
- 本クレイドルは吸着力が高いため、柔らかいダッシュボードなど、素材によっては吸盤の跡や傷が残ることがあります。

1 取り付ける位置を決める

吸盤保護シートを剥がさずにダッシュボードに当て、取り付ける位置を決めます。

2 吸盤保護シートを剥がし、ダッシュボードに置く

⚠注意

- 吸盤を取り外した後は、吸盤保護シートを貼って保管してください。
- 吸盤保護シートは汚れないように注意して大切に保管してください。
- 吸盤の吸着面に直接触れないように注意してください。油分などにより吸着力が低下します。
- 本クレイドルを置く際は、強く押し付けないでください。正しく空気が抜けなくなることがあります。
- 吸盤の吸着面がほこりや油などで汚れている場合は、水を含ませたスポンジで拭き取り、吸着面をしっかり乾燥させてから使用してください。

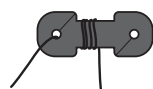
3 スタンドを押さえ、ロックレバーを下ろす

4 上下左右に動かし、ガタつきがないことを確認する

落下防止用ストラップ（試供品）を取り付ける

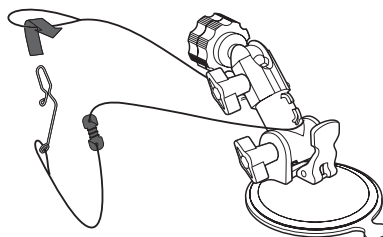
本クレイドルが走行時に落下すると、事故やけがの原因となります。また配線されたケーブル類が断線する可能性があります。落下防止用ストラップ（試供品）は必ず取り付けてください。

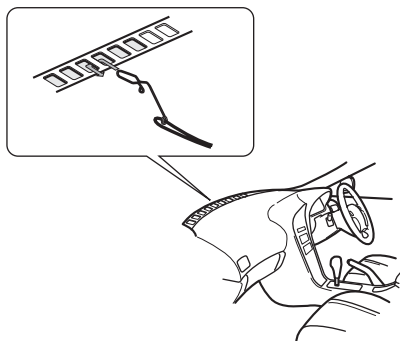
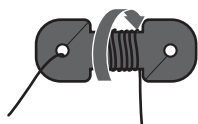
1 落下防止用ストラップ（試供品）を組み立てる

金具にひもを通してください

板を重ねてストラップを巻きつけてください

- 必ず板は 2 枚使ってください。
- 切り込みが同じ方向になるように重ねてください。

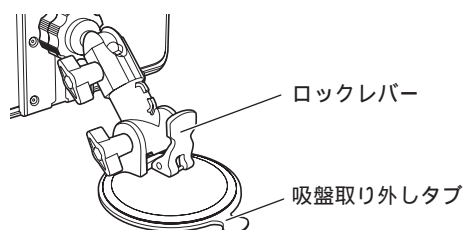
2 スタンドに落下防止用ストラップ（試供品）を通す

落下防止用ストラップ（試供品）をスタンドに回して、落下防止用ストラップ（試供品）の先端の輪にもう片方の先端を通して締めます。

3 金具を車のデフロスターの吹き出し口の穴に引っ掛ける

落下防止用ストラップ（試供品）を軽く引っ張り、確実にデフロスターに引っかかっている事を確認してください。

4 落下防止用ストラップ（試供品）の長さを調節して、ゆるみを無くす

取り外し方法（ドライブネットクレイドル 02 本体）

1 落下防止用ストラップ（試供品）を取り外す

2 ロックレバーを上げる

3 吸盤取り外しタブをつまんで、スタンドを取り外す

⚠注意

・ 端末を設置したまま、ドライブネットクレイドル 02 本体を取り外さないでください。（⇒「端末の取り外し方法」16 ページ）

吸盤の取り扱いについて

⚠注意

・ 本クレイドルをダッシュボードに付けたままにしていると、しだいに吸着力が弱まり、落下する場合があります。使用後は必ず本クレイドルを取り外してください。
・ 走行前は、必ず吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

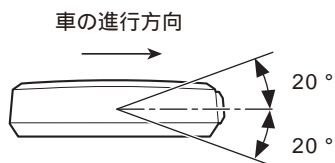
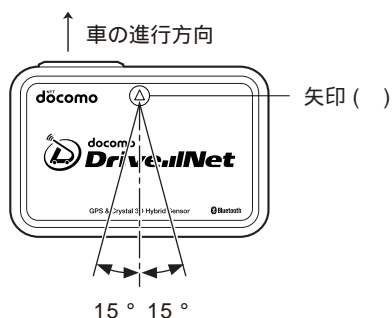
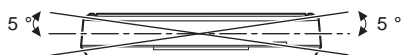
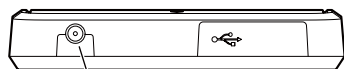
吸盤の掃除について

⚠注意

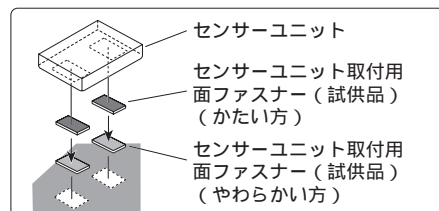
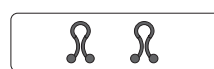
・ 吸盤の吸着面が汚れると、吸着力が低下します。使用前に、水を含ませたスポンジで汚れやほこりをふき取ってください。洗剤は使用しないでください。
・ 吸盤は、しっかり乾燥させてから取り付けてください。乾燥していない状態で使用すると落下する場合があります。

取り付け方法（センサーユニット）

⚠ 注意

- 取り付け位置は「クレイドル情報の確認」（⇒ 17 ページ）を参考に、GPS を十分に受信できる位置に取り付けてください。
- 自車位置精度向上のために、センサーユニットは、以下のような取り付け位置になるようにしてください。

- センサーユニットに GPS アンテナが内蔵されています。GPS 衛星の電波を遮らない場所に水平に取り付けてください。

1 付属のセンサーユニット電源ケーブルをセンサーユニットに接続する

センサーユニット電源ケーブル接続端子

2 付属のセンサーユニット取付用面ファスナー（試供品）を使って取り付ける

センサーユニット裏面のリセットボタンがかくれないように貼り付けてください。リセットボタンの位置は「ペアリング情報削除のしかた」（⇒ 17 ページ）を参考にしてください。

センサーユニット取付用面ファスナー（試供品）
必ず使用してください。裏面のシールをはがして、センサーユニット裏面の 2 箇所のくぼみに貼り付けます。

ケーブルクランパー（試供品）
ケーブルクランパー（試供品）で要所を束ねて、コードを引き回します。

端末の取り付け

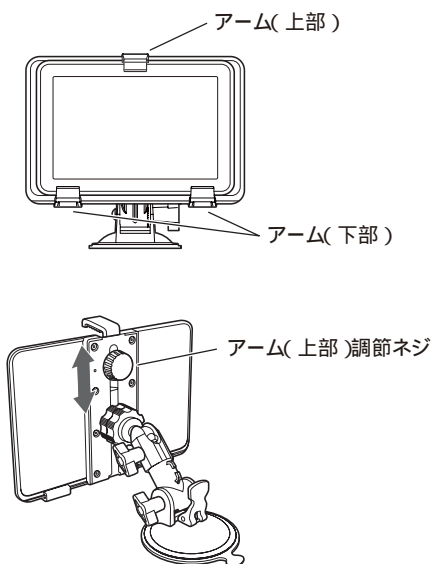
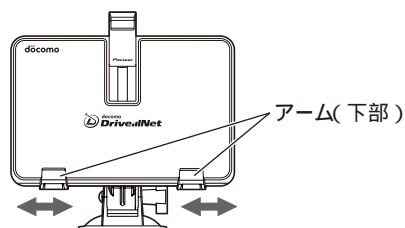
端末の取り付け方法

本クレイドルに端末を取り付けてください。

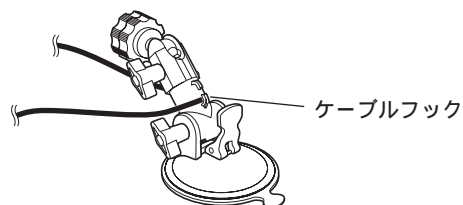
1 端末を載せ、アーム（上部）ではさむ

ドライブネットクレイドル 02 本体のアーム（上部）の位置を調節します。

⚠ 注意

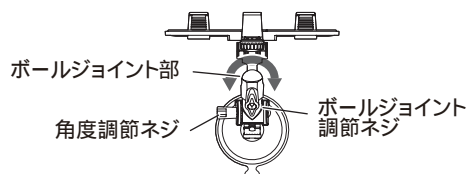
- 3 箇所のアームで端末がしっかり固定されているかどうか確認して下さい。端末がドライブネットクレイドル 02 本体にしっかり固定されていないと、走行中に落下し思わぬ事故に繋がる恐れがあります。

端末のボタンや端子などに被らないようにドライブネットクレイドル 02 本体のアーム（下部）を調節してください。

2 スマートフォン / タブレット電源ケーブル（試供品）を端末に接続する

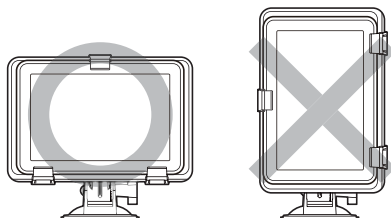
⚠ 注意

- 端末によっては、端子形状が異なり、スマートフォン / タブレット電源ケーブル（試供品）が使えない場合があります。その場合は、端末に付属の USB ケーブルを使用してください。使用方法は端末の取扱説明書をご確認ください。
- スタンドのフックは、USB ケーブルを引き回したり、ケーブル留めとして使うことができます。

3 ドライブネットクレイドル 02 本体の角度を調節する

角度を調節する場合は、ボールジョイント調節ネジ、角度調節ネジを緩めてから行ってください。取付角度が決まったら、各調節ネジを締めて固定してください。

⚠ 注意

- 角度調節ネジは緩めすぎないでください。
- 各調節ネジは調節後にしっかりと締めてください。緩いと振動で外れて思わぬ事故になることがあります。

⚠ 注意

・ 端末は、横の画面で使用してください。縦の画面での取り付けはしないでください。

端末の取り外し方法

1 ドライブネットクレイドル 02 本体のアーム（上部）を移動させて、端末を取り外す

シガーライター電源アダプタの接続

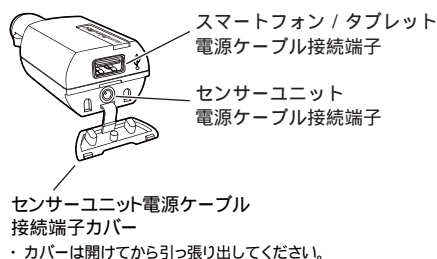
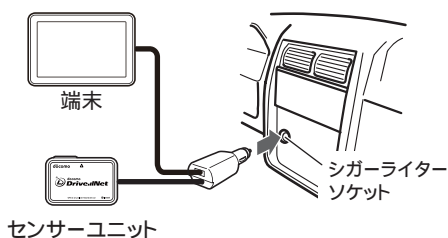
⚠ 警告

・ 付属のシガーライター電源アダプタを使用して接続してください。
・ 付属のシガーライター電源アダプタは本クレイドル専用です。他の製品には絶対に使用しないでください。
・ 全ての端子が確実に接続されていることを確認してからご使用ください。

⚠ 注意

・ 車のキーポジションを OFF にしても、本クレイドルの電源が OFF にならない車種の場合、本クレイドルを使用しないときは必ずシガーライター電源アダプタを抜いてください。抜き忘れると車のバッテリー上がりの原因になります。
・ 本クレイドルの取り付け後に、エンジンをかけてください。
・ ケーブル類は、運転の妨げにならないように、ケーブルクランパー（試供品）などで固定しながら配線してください。
・ ドコモ ドライブネットアプリの LED の設定によっては、センサーユニットに電源が入ってもセンサーユニットの LED が点灯しないことがあります。
・ ケーブルを外すときは、コネクター部を持って引っ張ってください。ケーブルを引っ張るとケーブルが抜けてしまうことがあります。

1 各ケーブルをシガーライター電源アダプタに接続する

・カバーは開けてから引っ張り出してください。

2 シガーライター電源アダプタをシガーライターソケットに接続する

3 エンジンをかける

センサーユニットのエコ・イルミネーションとシガーライター電源アダプタの USB 端子部の LED が点灯し、電源が入ったことを知らせます。

端末の設定

本クレイドルと端末を組み合わせて使用する前に、Bluetooth による接続が必要です。

⚠ 注意

- 本クレイドルと端末を Bluetooth 接続しているときは､他の機器での Bluetooth 操作(スキャン､ペアリング､接続などの操作)を控えてください。接続が不安定になる場合があります。
- Bluetooth の接続設定にはドコモ ドライブネットアプリが必要です。(⇒「本クレイドルでできること」9 ページ)

接続のしかた

- 以下の手順、画面表示は一例です。Bluetooth の接続方法､画面表示は､端末により異なります。端末の取扱説明書をお読みください。

1 クレイドル設定メニューを表示する

2「クレイドル接続設定」を選択する

3「クレイドルを探す」を選択する

Bluetooth にチェックが入っていない場合は､「Bluetooth 設定」項目で Bluetooth にチェックを入れます。

4『Bluetooth 設定』から『DriveNetCradle 02』を選択する

ペアリングを開始します。

- 端末リストに表示されない場合は検索をしてください。

5『Bluetooth ペアリング要求画面』で『承認』もしくは『ペア』を選択する

ペアリングが完了すると、青色 LED が 3 秒間点滅します。端末の画面上に「ペアリング済み」という文章が表示されます。

6 バックキーをタップして「クレイドル設定」に戻る

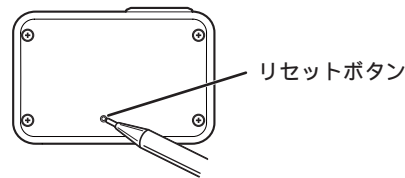
7「クレイドル設定」のリストからペアリングした「DriveNetCradle 02」を選択する

画面に『接続完了しました』と表示されます。同時にセンサーユニットの青色 LED が点灯します。

- 本クレイドルは最大で 5 台の端末の情報をペアリングできます。5 台登録されている状態で新たに端末の情報をペアリングすると、一番古い情報から上書きされます。

ペアリング情報削除のしかた

⚠ 注意

- ペアリング済みの全ての端末の情報がリセットされます。
- リセットボタンはセンサーユニットの背面にあります。
- ペン先などでリセットボタンを押してください。
- Bluetooth 接続を解除してから、リセットボタンを押してください。

1 本クレイドルの電源が入った状態で、リセットボタンを 5 秒以上押す

リセットが完了すると青色 LED が 3 回点滅します。

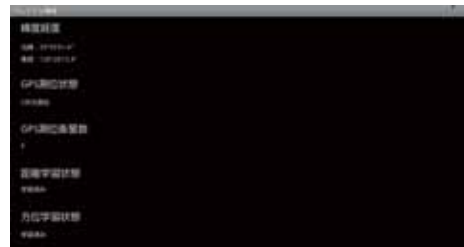
クレイドル情報の確認

端末で、受信状態を確認することができます。

⚠ 注意

- はじめて使用する場合、位置情報通信のためのクレイドル接続設定（⇒「端末の設定」17 ページ）が必要です。
- 受信状態の確認にはドコモ ドライブネットアプリが必要です。

1 クレイドル設定メニューを表示する

2「クレイドル情報」を選択する

受信状態

GPS の測位状態が表示されます。測位するまで数分かかる場合があります。

未測位：測位できていません。

２次元測位：測位できています。

３次元測位：高精度で測位できています。

見通しの良い場所で測位できていない場合は、電波不通過ガラスの可能性があります。

距離・方位学習状態

距離または方位の学習状態が表示されます。学習が完了している場合は「学習済み」、学習が完了していない場合は「未学習」と表示されます。

センサー学習の初期化

ドコモ ドライブネットアプリから操作してください。

1 クレイドル設定メニューを表示する

2「センサー学習の初期化」を選択する

ソフトウェア更新について

本クレイドルのソフトウェアを PC と接続して更新することができます。更新のしかた、ご注意についてはドコモのホームページをご確認ください。

- ソフトウェアの更新が必要な場合にのみ掲載されます。

故障かな？と思ったら

気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書に記載の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

取り付け

【症状】吸盤がうまく取り付けられない。本クレイドルが落下する。

チェック項目

- 吸盤が汚れていませんか。取り付け上のご注意、取り付け方法を確認して取り付けてください。（⇒「車への取り付け」-「使用上のご注意（取り付けるにあたって）」11 ページ / ⇒「取り付け方法（ドライブネットクレイドル 02 本体、スタンド）」12 ページ）

電源

【症状】センサーユニットに電源が入らない。

チェック項目

- 本クレイドルが高温な場所に放置されている場合、温度が下がるまでしばらくお待ちください。
- センサーユニット電源ケーブルを差し直してください。
- 付属のシガーライター電源アダプタのヒューズが切れていないか確認してください。切れていた場合は新品に交換してください。（⇒「ヒューズ交換のしかた」19 ページ）

Bluetooth 機能

【症状】端末との接続ができない／検索しても見つからない。

チェック項目

- 端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、センサーユニットのリセット、端末で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

充電

【症状】充電ができない。

チェック項目

- スマートフォンの電池パックが正しく取り付けられていますか。
- 端末を充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 充電しながら、複数のアプリケーションを起動していたり、Wi-Fi の接続設定を ON にしているなどの場合、端末への充電量よりも消費電力量が大きいため充電が進まない場合があります。その場合は不要なアプリケーションを終了させたり、Wi-Fi の設定を OFF にする、または端末の画面輝度の設定を調整してください。
- シガーライター電源アダプタがシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- スマートフォン / タブレット電源ケーブル（試供品）と端末が正しくセットされていますか。

ナビゲーション

【症状】自車位置マークがずれる。

チェック項目

- センサーユニットの取り付け位置を確認してく

ださい。(⇒「取り付け方法(センサーユニット)」14 ページ)
・ センサー学習の初期化をして、再学習を行ってください。(⇒「センサー学習の初期化」18 ページ)
・ GPS 測位不可の場合 (⇒「誤差について」22 ページ)や、走行条件によっては自車位置マークがずれることがあります。(⇒「その他の誤差について」22 ページ)

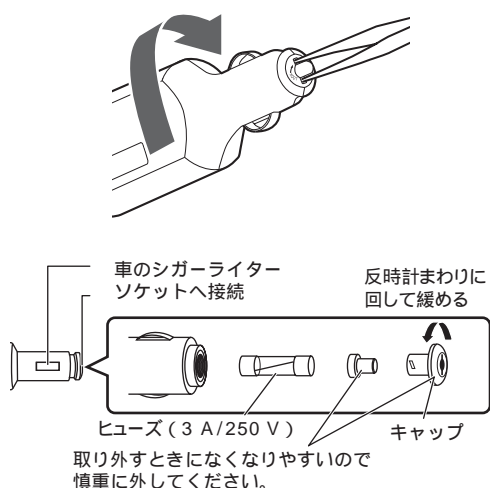
ヒューズ交換のしかた

本クレイドルに電源が入らないときは、付属のシガーライター電源アダプタのヒューズが切れていないか確認してください。
・ ヒューズ(3 A/250 V)は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

⚠ 注意

・ ヒューズが切れているときは、新しいヒューズに交換して、先端部をしっかりと締めます。必ず規定容量のヒューズ(3 A/250 V)と交換してください。

1 シガーライター電源アダプタのキャップの溝を押さえながら、キャップを外す

ピンセットなどを使用して、キャップの溝を押さえてください。キャップを外す際はシガーライター電源アダプタを回してください。

保証とアフターサービス

保証について

・ お買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
・ この商品は付属品を含め、改良のため予告なく商品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

■ 保証期間内は

・ 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
・ 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(コネクターなどの破損)による故障・損傷などは有料修理となります。
・ ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

・ お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)
※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後 6 年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

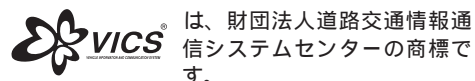
お願い

- 本クレイドルの改造はおやめください。改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受け致します。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  ーボタン部や LED 部にシールなどを貼る
  ー接着剤などにより装飾を施す
  ー外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内　であっても有料修理となります。
- 本クレイドルに貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Bluetooth アドレスが変更される場合があります。

商標・著作権

●「ドコモ ドライブネット」および「ドコモ ドライブネット」ロゴは株式会社 NTT ドコモの商標です。

●Wi-Fi® は Wi-Fi Aliance® の登録商標です。
●Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社 NTT ドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

●

は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
●本クレイドルは、パイオニア カロッツェリアが運営・管理するスマートループ渋滞情報 ® を使用しています。スマートループ渋滞情報 ® はパイオニア (株) の登録商標です。

仕様

ドライブネットクレイドル 02 本体

外形寸法…約 195 mm(W) ×約 155 mm(H) ×約 44 mm(D)

質量…約 224 g

使用温度範囲…0 ℃～ 45 ℃

スタンド

外形寸法…約 83 mm(W) ×約 142 mm(H) ×約 97 mm(D)

質量…約 158 g

使用温度範囲…0 ℃～ 45 ℃

シガーライター電源アダプタ

外形寸法…約 39 mm(W) ×約 29 mm(H) ×約 111 mm(D)

質量…約 54 g

使用温度範囲…0 ℃～ 45 ℃

入力電圧…DC 12 V

出力電圧…DC 5 V

最大出力電流…2.1 A（スマートフォン / タブレット電源ケーブル接続端子）

センサーユニット

外形寸法…約 76 mm(W) ×約 14 mm(H) ×約 50 mm(D)

質量…約 38 g

使用温度範囲…0 ℃～ 45 ℃

GPS 部

50 チャンネルマルチチャンネル受信方式

アンテナ…センサーユニット内蔵

Bluetooth

バージョン…Bluetooth 標準規格 Ver.2.1 準拠

出力…Bluetooth 標準規格 Power Class 2

ナビゲーションのしくみ

GPS による測位

- GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。
- GPS 衛星は、地球の周り高度 21 000km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。

種　類	内　容
3 次元測位	GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の 3 次元で測位できます。
2 次元測位	GPS 衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の 2 次元で測位します。高度は測位できないため、3 次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなります。

自立航法による測位

- 内蔵のハイブリッドセンサーは、走った距離を加速度センサーから、曲がった方向をジャイロセンサーで、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPS と自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPS による現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS 衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPS と自立航法を組み合わせると、GPS 測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

内蔵センサーの学習について

- 本クレイドルでは測位の精度を高めるために、ジャイロセンサーと加速度センサーを内蔵しております。この機能を有効にするためには、これらのセンサーの学習が必要です。学習は GPS を受信し、走行開始してから 5 分～ 15 分程度かかります。（走行条件によって異なります。）
- 学習が完了していないとトンネルなどで GPS が受信できない場合に、地図画面上の自車位置マークが停止します。（GPS が受信可能になると自車位置が更新されます。）

・ この機能は、取り付け角度が大きく変わった場合や学習クリアした場合は、再度学習が必要となります。
・ 内蔵センサーは、学習が完了していても、自車位置情報にずれが生じることがあります。

マップマッチング

・ マップマッチング機能を使用するためには対応のドコモ ドライブネットアプリとあわせて使用する必要があります。
・ GPS や自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。
・ 本クレイドルを用いる事により、GPS と自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不可による誤差

・ 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
　ートンネルの中やビルの駐車場
　ー２層構造の高速道路の下
　ー高層ビルの群集地帯
　ー密集した樹木の間
・ 長い時間 GPS による測位ができない場合、自車位置がずれたり止まったりする場合があります。このような場合でも、GPS の電波を受信してしばらく走行すると正しい位置に修正されます。
・ 本クレイドルにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。

GPS 衛星自体による誤差

・ GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
・ 捕捉(受信)できている衛星の数が少ないときは、2 次元測位となり誤差が大きくなります。

その他の誤差について

・ 角度の小さな Y 字路を走った場合。
・ 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐあと。
・ 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。
・ 蛇行運転をした場合。
・ 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。
・ ヘアピンカーブが続いた場合。
・ 道路が近接している場合 (有料道路と側道など)。
・ 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。
・ GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。
・ ループ橋などを通った場合。
・ 地図情報にはない新設道路を走った場合。
・ フェリーや車両運搬車などで移動した場合。
・ 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。
・ 碁盤の目状の道路を走った場合。
・ 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
・ エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。
・ 誤った取り付けや振動の影響によって本クレイドルの性能が発揮されない場合。
・ 走行中にセンサーユニットを取り付けた場合。
・ 本クレイドルの取り付け位置を変更した場合。

スマートループ渋滞情報® を利用する

本クレイドルに対応したドコモ ドライブネットアプリをあわせて使うことにより、スマートループ渋滞情報® を取得し、ドコモ ドライブネットアプリ上で渋滞情報などを確認することができます。

・ スマートループ渋滞情報® の設定はドコモ ドライブネットアプリの「ヘルプ（外部サイト）」を参照ください。

スマートループとは

スマートループとは、お客様から提供される情報（走行履歴）を、リアルタイムプローブサーバーで蓄積管理し、走行履歴データを考慮して作成された最新のプローブ渋滞情報を、VICS 情報とあわせてお客様にご提供するシステムです。

・ 渋滞情報は、インクリメント P 株式会社が運営する 『インクリメント P 交通情報サービス』からの提供です。
・ 本サービスで使用する VICS 交通情報は財団法人日本道路交通情報センターから提供されるデータを利用して作成しています。また、道路交通情報データの作成には財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。

総合お問い合わせ先
＜ドコモ インフォメーションセンター＞

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000
※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。
受付時間：午前 9:00 〜午後 8:00（年中無休）
・ 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
・ 各種手続き、故障･アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/

ドコモ ドライブネット
に関するお問い合わせ先

ドコモ ドライブネットセンター

一般電話などからの場合

0120-150-360
※携帯電話、PHS（他社）からもご利用になれます。
※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。
受付時間：午前 9:00 〜午後 8:00（年中無休）
・ 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000
※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。
受付時間：24 時間（年中無休）
・ 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
・ 各種手続き、故障･アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品購入お問い合わせ先

試供品のご購入に関するご相談については下記のところまでお問い合わせください。

パイオニア部品受注センター

044-572-8107（有料）
受付時間：月曜〜金曜　9:30 〜 18:00
土曜　9:30 〜 12:00 , 13:00 〜 17:00
※日曜・祝日・パイオニア休業日を除く
・ 正確なご相談対応のために、折り返しお電話をさせていただくことがございますので、発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。
発信者番号を非通知設定されているお客様は、はじめに 186 をダイヤルして、ご要望窓口の電話番号をダイヤルしていただくようお願いいたします。
・ 個人情報の使用目的についてはパイオニアホームページをご確認ください。
・ 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。